

南関防衛

平成29年

夏号

平成29年夏号 年4回発行 第16号

特 集

- キャンプ座間覚書締結について
- FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ」



神奈川県丹沢山地からの富士山

在日米陸軍: キャンプ座間の覚書締結について



在日米陸軍キャンプ座間は、神奈川県座間市と相模原市にまたがり、戦前に旧陸軍士官学校が所在し、戦後から在日米陸軍が使用し、昭和46年から陸上自衛隊が一部を共同使用しています。

この共同使用にあたり、当時座間町は、自衛隊による使用は基地の恒久化が予測されるとして反対しましたが、協議の結果、自衛隊の部隊人数等の制限や国側への要望事項からなる覚書を国と締結し、共同使用が開始されました。

その後、キャンプ座間では、在日米軍再編に係る在日米陸軍司令部の改編や陸上自衛隊中央即応集団司令部の移転などを経て、現在に至ります。

また、平成29年度末には、中央即応集団司令部を廃止し、陸上自衛隊の各方面隊を束ねる陸上総隊（仮称）が新設（東京都練馬区朝霞駐屯地）される予定ですが、在日米陸軍との連絡調整のため、座間駐屯地に陸上総隊司令部日米共同部（仮称）を配置する予定です。さらに、首都直下地震等の各種事態に実効的に対応する観点から、第4施設群（座間駐屯地）の隷下の第364施設中隊（静岡県御殿場市駒門駐屯地）を座間駐屯地に移駐する予定です。

昭和46年の覚書の締結から45年以上が経過し、我が国の安全保障環境が厳しさを増すなど、自衛隊を取り巻く社会情勢が大きく変化し、防衛力の強化、さらには、日米同盟の強化が我が国の安全の確保にとってこれまで以上に重要となっています。

本年3月、座間市議会において覚書を実態に沿った内容に見直す決議が採択されたことも踏まえ、防衛省と座間市などで構成される「キャンプ座間に関する協議会」で覚書の改正を協議し、6月28日、同協議会の代表幹事会において覚書の見直し案について了承され、7月7日には、堀地南関東防衛局長と遠藤座間市長との間で新たな覚書に署名されました。

新たな覚書では「座間市として、キャンプ座間内に自衛隊が駐屯していることを現実を受け止め、自衛隊の任務を理解しつつ、市域の発展のために自衛隊との共存を図ることが重要であり、引き続き、在日米軍との交流を行っていくことも重要である。」とし、現行の覚書にあった陸上自衛隊の人数等を制限する条項は削除するとともに、キャンプ座間の部隊改編等の重要な運用の態様の変更が行われる場合に速やかに情報提供することや、座間市の負担軽減のための取組などがあります。

このような前向きな覚書の改正は、全国的に見ても稀であります。



写真: 署名する左堀地南関東防衛局長、右遠藤座間市長



写真: 左堀地南関東防衛局長、右遠藤座間市長

神奈川県相模原市：南北道路開通記念式典

平成29年4月22日（日）に相模原市長の主催する南北道路記念式典がJR相模原駅北口に隣接する在日米軍相模総合補給廠の一部（土地）の返還跡地を会場として開催されました。

同式典には地元選出の国会議員をはじめ在日米陸軍基地管理本部司令官や堀地南関東防衛局長が参加しました。

神奈川県の県央地区に位置する南北道路（延長約900m）は、「再編の実施のための日米ロードマップ」において、平成26年9月、相模総合補給廠の一部（土地：約17ヘクタール）の返還のうち、道路及び地下を通る道路のため、約2ヘクタールが跡地利用されたものです。

本件道路の開通に伴い、東京都町田市方面からJR相模原駅北口への通行にあたり、これまでのように相模総合補給廠を迂回する必要がなくなり、従来の半分の距離となるとともに、相模原市にとっては「今後さらなるまちづくりを進めるうえで大きな一歩になる」とのことです。



写真：前列右から1人目、ジョンソン在日米陸軍基地管理司令官、3人目、加山相模原市長、4人目、阿部相模原市議会議長、後列右2人目、堀地南関東防衛局長



北富士演習場(山梨県)火入れ



写真：火入れされた北富士演習場

平成29年4月16日（日）に北富士演習場（山梨県）において、富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合ほか主催で実施する「火入れ」が行われ、堀地南関東防衛局長等が視察しました。

火入れ会場は三カ所あり、堀地局長が出席した吉田会場での火入れ式では開式の言葉に続き、武川富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合長等の挨拶の後「火入れ」が実施され、全体の約1,900ヘクタールを焼きました。



平成29年7月1日（土）山開きを迎える世界文化遺産：富士山（吉田口）山麓の北富士演習場では、日々陸上自衛隊等各部隊の演習が実施され、また、立入日には入会住民による林野雑産物の採取が行われています。

北富士演習場の周辺自治体では、これから8月の河口湖湖上祭、富士吉田火祭り等が催され、暑い夏を迎えます。

写真：後列左2人目から：天野忍野村長、堀地南関東防衛局長、武川富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合長、後藤山梨県知事、中村北富士演習場対策協議会会長ほか

CP富士 泥んこレース～MOD RUN～



(泥だまりを抜けていくキキ:石黒技官[右手前])

平成29年6月11日(日)に静岡県御殿場市に所在するキャンプ富士で、今年で3回目となる「泥んこレース～MUD RUN～」が開催されました。「MUD RUN」は、コース内に設置された障害を泥だらけになりながら乗り越えていくレースで、今年度は、昨年より難易度の上ったコースが設定され、5kmの個人競技・3人組のチームラン、1.6kmキッズコースなどの部門毎に順位を競いました。

当日は、天候にも恵まれ、参加者らは、ブリーフィングの後、それぞれがエントリーしたレースに参戦し、泥水溜まりを這い、池を横切り、壁を登り、森の中を駆け抜け、土の斜面を綱で登り、ロープの下のぬかるみを抜けながらゴールを目指し、激戦を繰り広げました。

当局からは、堀地南関東防衛局長ら5名が仮装し、堀地局長と齋藤補佐が個人競技に、若手職員3人組がチームランに参戦し、ロープやネットの下の泥だまりを這いつくばったりするなど泥まみれになりながら完走しましたが、惜しくも入賞を逃しました。

観客から大声援が送られる中、泥まみれになりながらエキサイティングなレースが繰り広げられましたが、参加者は、泥まみれになりながらもハードなコースを楽しみ、完走後はとても満足げな笑顔でした。

レース後は、各部門毎に男女別に1～3位入賞者の表彰式などが行われ、ハリーポッターに仮装した堀地局長、マリオとルイージに仮装した若手職員2名に仮装部門特別賞が贈られました。

また、表彰後は、レース参加者を対象にオモチャや豪華賞品などが当たる抽選会が行われ、大会を盛り上げました。

主催者のキャンプ富士によれば、今年の参加者数は、412名で昨年度の参加者数を大きく上回り、うち約8割が日本人とのことでした。参加者数は年々増加しており、今後も皆が楽しめる行事として定着させていきたいとのことでした。



(最後の泥だまりで若手海兵隊員と競り合うハリーポッター:堀地南関東防衛局長[右])



上:(左から堀地南関東防衛局長、エスカミヤキャンプ富士司令官、若手局職員達)
左:(泥だまりを通過していくマリオ:堀籠事務官[左]とルイージ:富田技官[右])

平成29年度新規採用者現地研修 (横須賀地区)

平成29年6月6日(火)及び7日(水)の日程で、南関東防衛局総務課が主催する「平成29年度 南関東防衛局新規採用者現地研修」が実施されました。

今回の研修は、6日(火)に富士地区、7日(水)に神奈川県横須賀地区及び県央地区の主要な施設、現場を回る日程で実施されました。

7日の朝、横須賀防衛事務所(横須賀地方合同庁舎)に到着した23名の新規採用者は、合同庁舎会議室において、南関東防衛局及び横須賀防衛事務所の概況説明を受けた後、海上自衛隊船越庁舎、長浦棧橋の自衛隊施設整備工事の現場見学を行いました。

その後、昼食を挟み、横須賀海軍施設において同基地司令部広報担当者の説明により、基地内に所在する各施設を見学しました。

このような現地研修は、新規採用者にとって非常に貴重な財産となったものと思います。



横須賀防衛事務所の若手職員による概況説明(事務所管轄分)



真剣な表情で概況説明を受ける新規採用者



横須賀防衛事務所(横須賀地方合同庁舎共用会議室)にて

第31回防衛セミナー実施概要

トランプ政権と日米関係



平成29年4月14日（金）神奈川県横浜市の開港記念会館において、「トランプ政権と日米関係」をテーマに、日米関係を御専門とされている箕原 俊洋 神戸大学大学院法学研究科教授をお招きし「第31回防衛セミナー」を開催しました。

箕原先生からは、まず、現在のアメリカは世界の警察官という意識はなく、また同国のリーダーも世界の大統領を目指していないとしており、1950年代のアメリカの絶頂期と比較して現在のアメリカの国力と影響力は相対的に弱まっているとの指摘がありました。すなわち、アメリカはゆるやかな衰退期に突入しているため、それに応じて既存の国際秩序への挑戦者（中国、ロシアなどによる現状変更の実行）が登場してきており、また、アジア地域も不安定さが増していることから、混迷の時代が待ち受けているのではと「覇権挑戦期」という言葉を用いてのお話がありました。

また、トランプ政権について、元々政治家ではないため自らの政治基盤を欠き、さらには、古参の共和党議員との対立や確執、政権と連邦議会との対立が生じており、政策の実施がかなり困難となっている。だからこそ、反体制を訴える支持基盤（ポリティカル・ベース）を失わないためにも、即断・即決を下に実際の効果よりも確実に目に見える政策を追求しているとの説明がありました。

その上で、今後の日米関係の文脈では、トランプ政権はアメリカの強さと偉大さを世界誇示したいという意識を有する反面、アメリカの国力の限界という現実もあり、それゆえ安全保障についてはより目に見える形での貢献をわが国に求めてくるのではと予想しました。つまり、「おもいやり予算」ではなく、アメリカとの連携を強化するための実行力の刷新を求め、その結果としてわが国の防衛費の増加は避けられないであろうとの説明がありました。最後に、アメリカは復元力を持つ国家であり、日本は「責任ある大国」としてリベラルな国際秩序の堅持にアメリカが世界へ回帰するまで「世界の家」を支える重要な役割を担う責務があり、そのためには大国としてより存在感を示す必要があるのではと締めくくられました。



講師
神戸大学大学院法学研究科教授
箕原 俊洋氏

防衛ミニセミナー ～日米の安全保障～

4月に横浜市において開催しました筑原神戸大学大学院教授による「トランプ政権と日米関係」と題した防衛セミナーを受け、神奈川県内の自治体職員及び神奈川県に所在する大学の学生等を対象に、当局の鋤先企画部長を講師として、防衛ミニセミナーを大和市にて2回にわたり開催しました。

第1部は、6月22日に「最近の日米安保の動向について」と題して、わが国を取り巻く安全保障環境、米国の安全保障政策の動向、更に、日米安全保障条約を中心に日米ガイドライン、トランプ政権発足後の首脳会談や日米防衛相会談から分かる日米同盟の動向などについて解説しました。

講演後、トランプ政権における日米安保の在り方や日本が防衛強化を行った場合の近隣諸国の反応などの質問に答えました。

第2部は、6月29日に「在日米軍について」と題して、在日米軍の概要、沖縄における米軍基地のなりたち、更に、神奈川県に所在する在日米軍について、基地毎に最新のトピックスを交えながら解説しました。



写真: ミニセミナー会場の様子



写真: 鋤先企画部長

南関東防衛局では、今後もこのような場を設け、わが国の平和と安全、国民の生命と財産を守るという防衛省の諸施策や自衛隊の活動などをより多くの方々に理解していただけるよう努めてまいります。

(防衛補佐官の仕事とは??)

— 地方防衛局の基本的な役割についてお話しすると、地方防衛局は、防衛省の所掌事務を分掌し、中央の施策・政策を地方でも実現できるよう、地方公共団体等との連携協力を図っています。また、地方公共団体等からのご要望等の声に適切に対応するために、地域の各自衛隊とも連携を密にして、地方での防衛行政の拠点として責務を担っています。

— そのような地方防衛局の役割を踏まえ、私も地方防衛局としては数少ない制服の自衛官として、部隊運用の見地から自衛隊との連携や協力に関わる各種計画や立案に参画し助言等させていただいています。

— 初めての地方防衛局での勤務ですが、自衛隊の部隊の活動をより円滑に行うためには地域との協力関係がいかに重要であるか改めて感じており、大変やりがいをもって業務にあたっています。



写真: 伊藤防衛補佐官

(装備課の仕事とは??)

— 私たちの仕事の内容は、自衛隊の装備品、例えば船、戦車、飛行機やそれらに搭載する武器や通信電子機器などを、会社から部隊へ納入する前に、防衛省の要求する水準を満足しているかどうかを確認することなどです。

— 私たちの後に検査する機会はないので、自衛隊に良い装備品が届けられるかどうかは、私たちが行う検査にかかっています。良いものが部隊に届けられるかどうかは、自衛隊の任務遂行にも関わってくるのももちろんのこと、自衛隊が国民の期待や付託に応えられるかどうかの分かれ道にもなるので、装備課の一人一人が重要性を認識し、「全ては部隊のために」を合い言葉に、日々、仕事に取り組んでいます。



写真: 右から、鈴木装備管理官、三好課長、灯織さん、新村沼津常駐官、河野装備管理官

F Mブルー湘南 「遊びに来ませんかスタジオへ」

F Mブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ」では、毎月第3木曜日午後3時から南関東防衛局職員が出演し、パーソナリティの灯織(ひおり)さんとともに日本の防衛政策などについて紹介しています。5月18日の放送では、伊藤防衛補佐官をゲストに迎え、防衛補佐官の職務内容等について伺いました。また、6月15日の放送では、調達部装備課の三好課長、河野装備管理官、鈴木装備管理官、新村沼津常駐官の4名をゲストに迎え装備課の仕事等について伺いました。

米海軍横須賀基地フレンドシップデー

毎年、横須賀開港祭の花火大会の時期に合わせて、米海軍横須賀基地の一般開放（ヨコスカフレンドシップデー）が実施されます。

基地内ではアメリカ海軍の艦船の一般見学、アメリカンフードのブース等が出展されます。本年は8月5日（土）に実施される予定で開門時間は10時から19時（イベントは20時）までとなっています。

なお、入場は、日本国籍を証明できる写真入りの身分証明書の提示が必要で、運転免許をお持ちの方は合わせて本籍地記載の住民票か警察署で発行する本籍地記載印字票が必要です。

米海軍横須賀基地/一般開放日: 2017年8月5日(土)

ヨコスカ・フレンドシップデー

米海軍横須賀基地の施設一部を一般開放し、ハンバーガーやステーキなどのアメリカンフード屋台をはじめ、ステージショーや各種ゲームなど様々な催し物、また夜には開国花火大会が楽しめます。是非、ご友人、ご家族お誘いの上お越し下さい。

日時: 2017年8月5日(土) 10時~20時
(最終入門時間: 19時)

雨天時: 中止→横須賀市ホームページをご覧下さい

アクセス: 米海軍横須賀基地三笠公園ゲート
(三笠公園の奥まで進み、噴水池の横からご入門下さい)
JR横須賀駅より徒歩約25分、京急横須賀中央駅より徒歩15分。

・艦船見学（一般公開）開催の有無は未定です。

- ・ イベント内容は予告なしに急遽変更になる場合があります。
- ・ 基地入門の際、持ち物検査があります。
- ・ 写真つき身分証明書の提示を求められる場合があります。
- ・ 外国籍の方は必ず身分証明書をご持参下さい。
- ・ ペット、危険物、アルコール、缶、缶の持込や車、バイク、自転車、スケートボードでの入門はできません。
- ・ レジャーシートをお持ちいただくと便利です。
- ・ 熱中症予防のため、こまめな水分補給などを心がけてください。

有効身分証明書

- ・ 有効期限内のパスポート
- ・ 運転免許証+記載印字票
- ・ 本籍記載住民票+運転免許証
- ・ 写真付住民基本台帳カード
- ・ 写真付マイナンバーカード
- ・ 学生証（中学生）
- ・ 小学生以下は不要

お問い合わせ先: 046-822-8301 スカナビ（横須賀観光インフォメーション）

お知らせとお願い

レーザー光線の航空機への照射は **犯罪** (注) です。

神奈川県内や東京都内で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

航空機へのレーザー光線の照射は、パイロットの目の負傷、失明、操縦への障害に繋がり、**墜落等による大惨事を地域の皆様にもたらしかねない大変危険で悪質な行為**です。

航空機に向けてレーザー光線を照射している人を見かけた方は110番通報をお願いいたします。



レーザー光線による操縦士への影響イメージ

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、自衛隊機や米軍機を含む航空機に対するレーザー照射や凧揚げという行為が規制対象になるとともに、罰金(50万円以下)等が科せられることになりました。刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)、航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合があります。 ※平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

【航空法施行規則等の一部改正概要について(平成28年12月21日施行)】

- 航空法施行規則の一部改正
「航空法第99条の2の規制対象行為として、進入表面上空空域等を飛行する航空機に向かってレーザー光を照射すること及び同空域等に凧を揚げることを追加」
- 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第6条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定及び日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う航空法の特例に関する法律施行令の一部改正
「アメリカ合衆国軍隊の航空機等の飛行に影響を及ぼすおそれのある行為について航空法99条の2の適用対象」

本記事に関するお問合せは、南関東防衛局企画部地方調整課(直通)045-211-7134へ御連絡願います。